2026　U１８日韓交流戦

大会名	2026　U１８日韓交流戦	日　付	2026/11/4
場　所	牙山市ホッケー場	天　候	晴れ
試　合	第2戦	通算結果	１勝１敗

Country	RESULT				Country
日　本 JAPAN	0	1Q	0	0	1	韓国 KOREA
		2Q	0	0		
		3Q	0	0		
		4Q	0	1		

Start	No.	Name	備考
30	41	野田　美緒	GK
✓	27	川田　理華	GK
✓	44	野田 莉緒	
✓	7	秋場　優南	
✓	5	吉田　来夢	
✓	10	橋本　奈々	Cap.
✓	8	ボクホベン　莉咲ジェーン	
✓	9	吉原　仁菜	
✓	17	小池　咲代	
7	19	伊藤　詩	
✓	24	長屋　果歩	
7	23	安部　綾花	
✓	14	桑本　真衣	
7	43	八十島　栄奈	
✓	26	関口　結希	
7	25	山田　心結	
ヘッドコーチ		岩館　直也	
UMPIRE		志田　達広	

Start	No.	Name	備考
✓	7	KWON HAYEON	Cap.
✓	27	KIM MINCHAE	
✓	10	KIM JIWON	
✓	12	AN SOHYUN	
✓	9	LIM HYOSUN	
5	13	HEO ARYEON	
5	5	LEE SONGHEE	
✓	11	RYU GYEONGMIN	
✓	2	PARK DAMI	
5	22	LEE JIAE	
✓	17	LEE HYEONJU	
✓	6	JEON GAHEE	
5	8	JUNG HYEONJI	
✓	15	CHOI JEONGHA	
8	14	TAK GAEUN	
✓	1	HONG SEO YEON	GK
ヘッドコーチ		JEONG YONGGYUN	
UMPIRE		KIM SEONGHYEON	

Country	Min	Name	Action	Score
韓国	60	KIM MINCHAE	FG	0 – 1

Country	Min	Name	Action	Score

第1Q 韓国のセンターパスにより、日韓交流戦第2試合が開始された。試合開始直後から両チームともに積極的なプレーを見せ、中盤で激しいボールの奪い合いが繰り広げられた。日本は韓国の攻撃に対して粘り強く対応し、ボールを奪うと素早く攻撃をする。両チームともに決定的なチャンスを作ることができず、一進一退の攻防が続く中、両者無得点のまま第1Qが終了した。

第2Q 第2Qに入っても、両チームの激しい攻防が続く。17分、日本＃17小池がドリブルで韓国ディフェンスを突破し、サークル内へ侵入する。その勢いでPCを獲得し、日本に先制のチャンスが訪れたが、得点には至らず、惜しくもチャンスを逃した。18分には韓国がPCを獲得。日本は韓国の攻撃に対して集中した守備を見せ、選手同士が連携しながらゴールを守り抜き、韓国に得点を許さなかった。22分、日本＃24長屋にグリーンカードが課せられ、一時的に数的不利な状況となる。その後も韓国が攻撃を仕掛け、29分には再びPCを獲得。韓国に得点のチャンスを与えるものの、日本は最後まで粘り強い守備を見せ、ゴールを割らせなかった。0－0の同点のまま前半戦を終了した。

第3Q 日本のセンターパスにより後半戦が開始された。後半も日本は積極的に攻撃を仕掛け、32分にはPCを獲得。日本＃7秋葉がストレートシュートを放つも、惜しくもゴールの枠を外れ、先制点を奪うことはできなかった。その後も日本＃10橋本を中心に攻撃を組み立て、韓国ＤＦの隙を狙いながら前線へとボールを運ぶが、なかなか決定的なチャンスにつなげることができない。日本は粘り強く攻撃を展開するものの、韓国も集中力を切らさず対応し、両チームともに得点を奪えないまま試合が進んだ。

第４Q 開始から、得点が欲しい日本は早いプレッシャーで韓国のボールを奪い、果敢に攻撃をする。４６分、日本ＰＣを連続で獲得するも、韓国ＧＫ＃１HONG SEO YEONのナイスセーブで決めきれない。日本は、早いリスタートで韓国ＤＦを崩し、スピードある攻撃を仕掛けるが、得点にはつながらない。韓国ボールを日本＃５吉田が何度もインターセプトし、攻撃を阻止する。その後も日本のミスを＃７秋場・＃４４野田がカバーし、サークル侵入を防ぐが、６０分、日本のゴール前にこぼれたボールを韓国＃２７KIM MINCHAEが押し込み、０－１で試合終了となる。第２戦、韓国の勝利となり、２戦１勝１敗となる。

日本	7	PC数	2	韓国
	13	シュート数	4	

校閲：長尾　美和

文責：河内佑有子